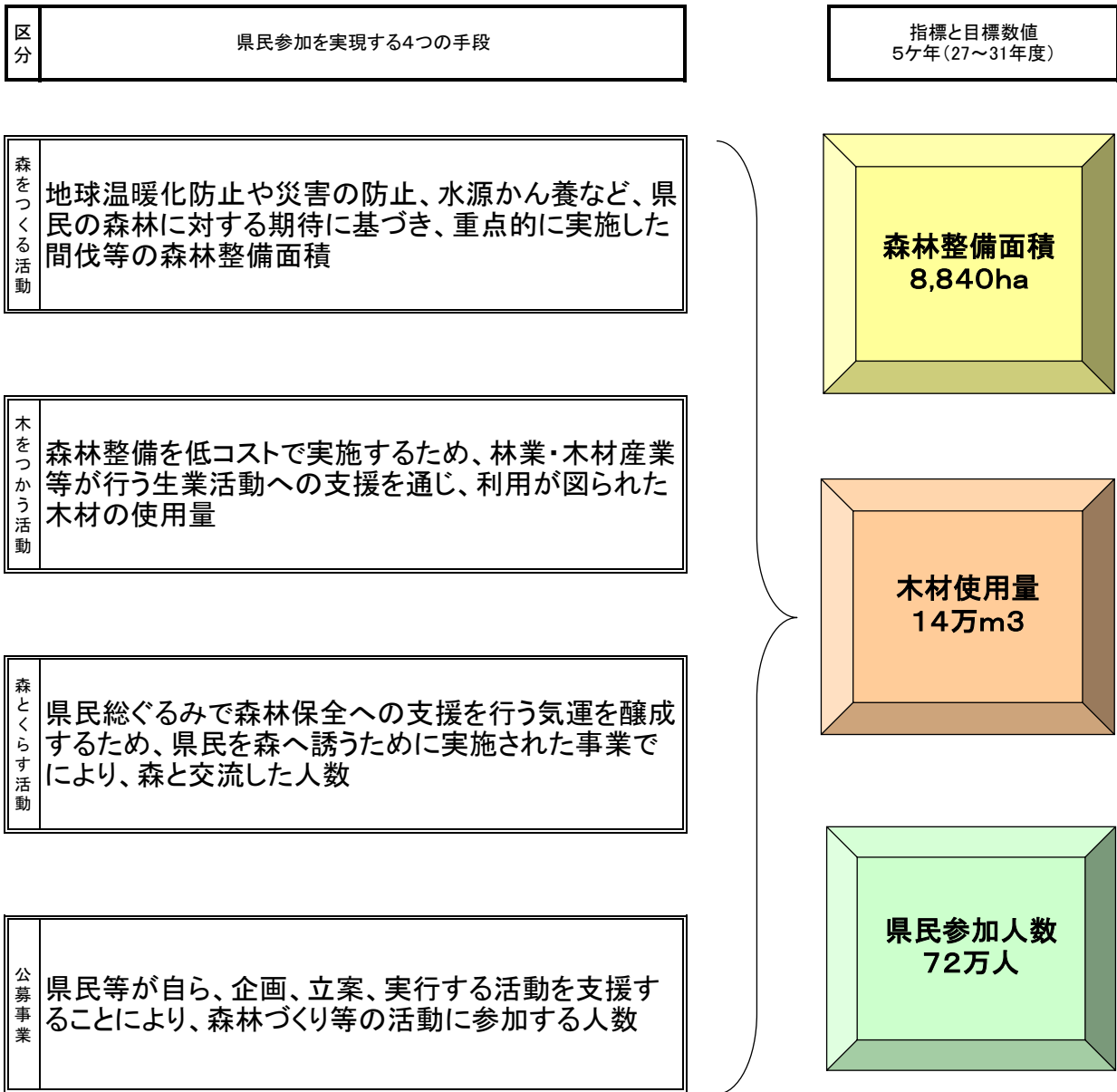


## V 平成27年度事業実績

# 第3期森林環境税の事業目標

## I 第3期森林環境税の事業目標



## II 第2期森林環境税の事業計画

目標項目	目標数値	H27		H28		H29		H30		H31		合計	
		実績	達成率	実績	達成率	実績	達成率	実績	達成率	実績	達成率	実績	達成率
森林整備面積	9,920ha	1,487	15	1,460	15							2,947	30
木材使用量	140,000m3	55,172	39	73,216	52							128,388	92
県民参加人数	720,000人	124,623	17	129,728	18							254,351	35
内訳	木とふれあう人数	400,000人	72,762	18	73,929	18						146,691	37
	森と交流する人数	250,000人	40,273	16	44,905	18						85,178	34
	公募事業に参加する人数	70,000人	11,588	17	10,894	16						22,482	32

平成27年度事業実績  
1 事業総括表

○ 基金繰入額 639,644,487円

積立金	内 容	内 訳	予算額(A)	決算額(B)	差引額(B)-(A)
森林環境保全基金積立金	森林環境税を財源に、県民で支える森づくりの理解と参加の促進及び、公益的機能を発揮できる森林の保全・整備の事業を計画的かつ確実に実施するため、基金を積み立てる。	① 森林環境保全基金積立金	647,760,000円	639,644,487円	-8,115,513円

○ 歳出額

事業名	内 容	事 項 名	予算額	決算額	差引額
森をつくる活動	県民が安全で安心して暮らせる環境を支える森林が健全に保たれるよう森林整備・保全等を推進するとともに、野性鳥獣による森林被害の防止や必要な技術者等の人材の育成等を総合的に進める。	① 森林そ生集団間伐促進事業 未整備森林や小面積森林などの間伐や作業道開設への支援	69,174,000円	65,642,700円	-3,531,300円
		② 集落等山地災害危険地区整備事業 山地災害危険地区の森林を土砂流出防止機能の高い健全な森林へ誘導	34,500,000円	32,984,603円	-1,515,397円
		③ 松林保全事業 県木である松を守るための松林保全活動を支援	1,296,000円	1,296,000円	0円
		④ フォレスト・マイスター養成支援事業 林業技術者等の担い手を養成する研修の実施	12,904,000円	12,693,041円	-210,959円
		⑤ 里山放置竹林対策モデル事業 放置竹林の伐採・植栽や竹材利用の実証	9,545,000円	9,545,000円	0円
		⑥ 有害鳥獣総合捕獲事業 ニホンジカによる森林被害等を軽減し、森林を保全	15,855,000円	15,855,000円	0円
		⑦ 特定鳥獣保護管理計画推進事業 ニホンジカの個体数調査や試験捕獲の実施	650,000円	650,000円	0円
		⑧ 優良種苗確保事業 健全な森林を造成するため優良な苗木を確保、提供	15,374,000円	15,028,615円	-345,385円
		⑨ 林業躍進プロジェクト推進事業 推進会議の開催等による森林・林業の現状把握	111,000円	21,980円	-89,020円
		⑩ 森林吸収クレジット販売促進事業 新たな環境ビジネスの構築を目指す	1,199,000円	766,980円	-432,020円
		⑪ 主伐推進緊急再造林対策事業 間伐に加えて、主伐を計画的・段階的に導入するプロジェクトの推進	44,602,000円	44,602,000円	0円
		⑫ 木製ダム設置実証事業 木製ダムの設置と効果の検証	15,500,000円	14,000,000円	-1,500,000円
		⑬ 指定管理鳥獣捕獲モデル事業 自然生態系への影響が懸念されるニホンジカの捕獲実施	2,860,000円	2,856,992円	-3,008円
		<b>225,066,000円</b>	<b>218,143,433円</b>	<b>-6,922,567円</b>	
木をつかう活動	持続的な森林経営の推進に不可欠な森林資源の利活用を促進するため、公共的施設や民間住宅における木造化・木質化等による、木質資源の利用拡大を図るとともに、県産材の安定供給体制等の整備を行い、県産材の競争力の強化を図る。	① 木質バイオマス利用促進事業 未利用材を木質バイオマスとして有効利用	23,557,000円	23,321,414円	-235,586円
		② 公共施設木材利用推進事業 地域のシンボルとなる公共施設の木造化	22,268,000円	20,136,360円	-2,131,640円
		③ 県立学校校舎等整備事業 県立学校校舎の木造化	40,000,000円	40,000,000円	0円
		④ 自然公園木製施設整備事業 県立自然公園内に県産木材を使った標識、柵、階段などを整備	4,571,000円	4,560,011円	-10,989円
		⑤ 木の香る公園施設整備事業 都市公園に県産木材を使った施設を整備	5,000,000円	5,000,000円	0円
		⑥ えひめ材住宅普及啓発事業 県産民間住宅に柱材を無償提供する等、木造住宅の建設を促進	76,511,000円	76,458,676円	-52,324円
		⑦ 原木乾しいたけ等生産促進事業 しいたけ生産振興による山村活性化のための支援	23,706,000円	23,564,008円	-141,992円
		⑧ 愛媛県産品製品市場開拓促進事業 県産材の販売体制整備や大消費地での市場開拓等を支援	7,356,000円	5,560,228円	-1,795,772円
		⑨ 駐在所等庁舎整備 駐在所の木造化	3,000,000円	3,000,000円	0円
		⑩ 中予畜産保健衛生所等整備事業 公共施設の木質化	8,000,000円	8,000,000円	0円
		⑪ 県産CLT普及促進事業 木材の新たな利用としてCLT利用の普及・促進等	5,353,000円	4,163,224円	-1,189,776円
		⑫ 乾たけのこ生産拡大緊急対策事業 乾たけのこ生産振興による山村活性化のための支援	5,744,000円	4,379,512円	-1,364,488円
		<b>36,155,000円</b>	<b>32,454,458円</b>	<b>-3,700,542円</b>	
森とくらす活動	青少年を対象とした森林・林業体験や森林環境教育を行うとともに、森林づくりを行う市民グループやボランティア団体の交流や森づくりの場(フィールド)等の情報提供を行い、県民参加による森林づくりの気運を醸成する。	① 県民と森との交流促進事業 県民と森との交流促進	13,040,000円	11,844,678円	-1,195,322円
		② 自然観察会開催事業 青少年を対象とした自然観察会を開催	1,729,000円	829,057円	-899,943円
		③ 森とのふれあい活動促進事業 森林づくりを行う青少年や県民の活動を支援	13,226,000円	12,080,830円	-1,145,170円
		④ 林業普及指導事業 森林そ生プロジェクトの成果を県下に普及させるための体験と広報誌の発行	3,583,000円	3,129,333円	-453,667円
		⑤ 「森林わくわく体験」推進事業 幼稚園や小中学校に対する森林環境教育の推進	1,077,000円	1,077,000円	0円
		⑥ 都市近郊林保全事業 緑に親しむ空間を提供するため、都市近郊林を整備	500,000円	493,560円	-6,440円
		⑦ 巡回展「森の博物館」開催事業 自然や森林に関する巡回展や森林観察会等の開催	3,000,000円	3,000,000円	0円
		<b>27,000,000円</b>	<b>21,874,000円</b>	<b>-5,126,000円</b>	
公募事業	県民参加の森林づくり公募事業 森林環境税の目指す「森林環境の保全」と「森林と共生する文化の創造」を県民と一体となって推進するため、県民の豊かな発想を施策に反映するとともに、自発的な活動を支援し、森林に対する県民参加活動を発展させる。	① 県民参加の森林づくり公募事業費	27,000,000円	21,874,000円	-5,126,000円
○ 計			511,791,000円	488,414,802円	-23,376,198円

### ① 森林そ生集団間伐促進事業（一部森林環境税事業）

「森林そ生対策」による森林整備を一層強化するため、施業地の集約化と森林作業道等の整備、高性能林業機械導入による間伐の施業コストの軽減に努め、森林の持つ公益的機能の高度発揮と林業の活性化、ひいては、地球温暖化防止に貢献します。

#### 1 ポイント

「えひめ森林・林業振興プラン」に基づき、木材利用の拡大を目指した搬出間伐の促進に努めるとともに、森林が持つ地球温暖化防止や水源かん養及び県土保全機能等の高度発揮を図るため、間伐を主体とする「森林そ生対策」を推進し、同プランの目標達成に取り組んでいます。

本事業では、市町が中心となった森林整備の加速化に向けた取組みへの支援、森林所有者自ら実施する森林整備など国の補助対象外となる施業へのきめ細かい支援を行うことによって、同プランの目標達成に寄与するとともに、森林の保全・整備と林業・木材産業の振興に貢献するものです。

#### 2 事業内容及び採択要件等

事業種	事業内容	採択要件
① 森林整備戦略的取組支援事業	集約化・団地化による効率的な森林整備の加速化を図るとともに、効果的な地球温暖化防止策等に取り組むため、市町が参画して作成された森林経営計画内において実施する搬出間伐等へ補助する。	国補助：森林環境保全直接支援事業を活用して実施する間伐等 ・ 60年生以下 ・ 1集約化計画あたり、5ha以上かつ10m <sup>3</sup> /ha以上の搬出間伐
② 自伐林家支援事業	森林所有者等が自ら行う森林整備を支援し、森林の持つ公益的機能の維持増進を図る。	国補助事業の対象とならない施業 ・ 森林所有者自ら実施する植栽、獣害対策下刈、間伐、作業道開設 ・ 1施行地の面積が0.05ha以上
③ 未整備森林間伐事業	国補助事業の対象外となる施業について、事業主体が森林所有者の代わりに行う森林整備や、森林所有者の確認や同意取り付け等の関連条件整備を支援する。	国庫補助事業の対象とならない間伐及び関連条件整備 ・ 1施行地の面積が0.10ha以上

※事業実施主体

- ① 森林経営計画作成者（市町、森林組合、林業事業体等）
- ② 森林所有者等
- ③ 森林組合・林業事業体等

#### 3 平成27年度実績

(1) 実績額 69,174千円（全体事業費 69,174千円）

(2) 事業内容

① 森林整備戦略的取組支援事業

※国費の内示減による事業中止のため実績なし

② 自伐林家支援事業

(単位：ha、m、円)

事業体名	実施箇所	実績					補助金額 (円)
		植栽	下刈	切捨間伐	搬出間伐	森林作業道	
宇摩森林組合	四国中央市他		0.79				50,560
いしづち森林組合	西条市他	0.44		5.59	0.81		632,880
松山流域森林組合	松山市他				0.41	97	104,770
伊予森林組合	伊予市他	2.42	5.25	0.36		486	1,234,760
砥部町森林組合	砥部町他	0.34	1.77	1.44	9.82	1,207	2,777,870
久万広域森林組合	久万高原町他			9.18			587,520
内子町森林組合	内子町他		1.68				107,520
西予市森林組合	西予市他			0.14			8,960
南予森林組合	宇和島市他		1.43	0.19	9.07	1,196	2,194,760
南宇和森林組合	愛南町他		0.49				31,360
合計		3.20	11.41	16.90	20.11	2,986	7,730,960

森をつくる活動

③ 未整備森林間伐事業

(単位：ha、円)

事業体名	実施箇所	実績				補助金額計
		公的森林整備		間伐等		
		面積	補助金額	面積	補助金額	
いしづち森林組合	西条市他	36.68	1,024,000	9.53	78,000	1,102,000
越智今治森林組合	今治市他	50.70	1,500,000	30.27	4,440,000	5,940,000
松山流域森林組合	松山市他	141.53	4,245,900			4,245,900
伊予森林組合	伊予市他	81.88	2,395,210	18.76	2,354,790	4,750,000
砥部町森林組合	砥部町他	83.20	2,434,760	4.12	799,280	3,234,040
内子町森林組合	内子町他	133.13	1,423,000	58.80	12,348,000	13,771,000
大洲市森林組合	大洲市他	110.00	3,300,000	7.81	1,640,000	4,940,000
八西森林組合	八幡浜市他	15.18	450,000	4.21	412,000	862,000
西予市森林組合	西予市他	41.43	1,242,900	30.46	6,300,000	7,542,900
榊エフシー	西予市他			22.63	3,349,240	3,349,240
南予森林組合	宇和島市他			10.00	2,400,000	2,400,000
榊日吉農林公社	宇和島市他			23.00	1,632,000	1,632,000
南宇和森林組合	愛南町他			6.02	180,000	180,000
合計		699.75	18,015,770	219.59	33,933,310	53,949,080



4 事業期間

平成27年度～平成31年度

森をつくる活動

5 全体計画

事業内容		H 27	H 28	H 29	H 30	H 31	計
計 画	森林整備戦略的取組支援事業 (ha)	0	490	400	450	450	1,790
	自伐林家支援事業 (ha)	61	70	70	100	100	401
	未整備森林間伐事業 (ha)	725	680	600	700	700	3,405
	補助金額 (千円)	69,174	417,621	328,000	405,000	407,000	1,626,795
	うち森林環境税 (千円)	69,174	169,380	133,000	164,000	165,000	700,554
実 績	森林整備戦略的取組支援事業 (ha)	0					
	自伐林家支援事業 (ha)	51.62					
	未整備森林間伐事業 (ha)	919.34					
	補助金額 (千円)	61,337					
	うち森林環境税 (千円)	61,337					
実施箇所		松山市他					

## ② 集落等山地災害危険地区整備事業

「山地災害危険地区」のうち土砂流出防止機能等が著しく低下し、降雨によって集落等に被害を及ぼす恐れのある地区の森林について、本数調整伐等を実施し、下層植生を導入するなど土砂流出防止機能の高い健全な森林へと誘導します。

### 1 ポイント

近年、局地集中豪雨や大規模地震等の異常天然現象が増加する傾向にあり、山地災害の様相が大きく変化していることから、継続的な公共治山事業と併せて、これまで想定していなかった山地災害に対する新たな対応が求められている。

本事業では、公共治山事業として採択されない「山地災害危険地区」のうち土砂流出防止機能等が著しく低下し、降雨等で集落等に被害を及ぼす可能性が高い地区の森林等を緊急に整備して山地災害危険地の解消を図ることとしている。

### 2 事業内容

<p>(1) 溪流タイプ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本数調整伐（間伐率 40%程度）</li> <li>・簡易木製構造物（木製ダム・柵工等）</li> <li>・堆積物除去 （溪流内に異常堆積した流木等の除去）</li> <li>・その他森林機能回復のために必要なもの</li> </ul> <p>(2) 山腹タイプ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本数調整伐（間伐率 40%程度）</li> <li>・簡易木製構造物（木製土留工、柵工等）</li> <li>・その他森林機能回復のために必要なもの</li> </ul>	<p>【実施場所】 県が定めている山地災害危険地区であつて、民有林治山事業の採択基準を満たさない箇所であること。</p> <p>【事業主体】 県</p> <p>【採択要件】</p> <p>林分が過密化等して土砂流出防止機能等が低下している箇所で、次のいずれかに該当するもの。</p> <p>① 溪流タイプ 現に森林が荒廃等して溪流に土砂の流出が認められる箇所で、整備対象森林面積が 10ha 以上、かつ、1 箇所の工事費（年度計画額）が 500 万円以上であること。</p> <p>② 山腹タイプ 人家 5 戸以上の集落後背部の森林で、整備対象面積が 5 ha 以上、かつ、1 箇所の工事費（年度計画額）が 250 万円以上であること。</p>
---	--

### 3 平成 27 年度実績

- (1) 実施額 34,500千円（事務費1,580千円含む）  
 (2) 実施状況



四国中央市金田町半田（南山）



内子町石畳（峰成）

森をつくる活動

4 事業期間 平成27年度 ~ 平成31年度

5 全体計画

事業内容		H27	H28	H29	H30	H31	計
計画	山地保全面積	70ha	70ha	50ha	60ha	70ha	320ha
	事業費	34,500千円	35,000千円	20,000千円	33,000千円	35,000千円	157,500千円
	うち森林環境税	34,500千円	35,000千円	20,000千円	33,000千円	35,000千円	157,500千円
	山地保全面積	50.7ha					
実績	作業歩道等	728.0m					
	事業費	34,500千円	千円	千円	千円	千円	千円
	うち森林環境税	34,500千円	千円	千円	千円	千円	千円
	実施箇所	四国中央市(1) 西条市(1) 今治市(1) 内子町(1) 西予市(1) 宇和島市(1)					



### ③松林等保全事業(一部森林環境税事業)

県木である松を守るため、地域住民やボランティア等による抵抗性マツ等の植栽等、県民参加による松林保全活動を通じ、緑豊かな地域づくりを推進します。また、重要な松林を対象に松くい虫薬剤処理を行い、松林の保全を行います。

#### 1 ポイント

県木である松を守るため、地域住民やボランティアの活動を通じた、抵抗性マツ等の植栽等緑豊かな地域づくりをするための松林保全活動に対し、支援を行うこととしており、従来から行っている空中散布、地上散布の予防措置と被害木の伐倒駆除の駆除措置を効果的に組み合わせ、引き続き適切な防除に努めることとします。

#### 2 事業内容

(1) 松のみどりを守る活動事業(森林環境税を活用)

【伐倒駆除・樹幹注入】

樹幹注入により松林の保全を図り、伐倒駆除により発生源の除去を行う。

区分 市町村	予防措置	駆除措置		計
	樹幹注入	伐倒駆除	特別伐倒駆除	
今治市	194.15m <sup>3</sup> 10,130(699)千円	122m <sup>3</sup> 5,612千円	37.48m <sup>3</sup> 2,014千円	353.63m <sup>3</sup> 17,756(699)千円
伊予市	61.4m <sup>3</sup> 3,193(221)千円	69.83m <sup>3</sup> 3,212千円		131.23m <sup>3</sup> 6,405(221)千円
東温市		9.02m <sup>3</sup> 414千円		9.02m <sup>3</sup> 414千円
久万高原町	4.69m <sup>3</sup> 244(17)千円			4.69m <sup>3</sup> 244(17)千円
計	260.24m <sup>3</sup> 13,567(937)千円	200.85m <sup>3</sup> 9,238千円	37.48m <sup>3</sup> 2,014千円	498.57m <sup>3</sup> 24,819(937)千円

(注)( )書きは森林環境税額。

【松林保全活動】

地域のボランティアにより、抵抗性マツ等の植栽等を行うもの

区分 市町名	松林保全活動	計
今治市	1箇所(志島ヶ原) 92(45)千円	1箇所 92(45)千円
計	1箇所 92(45)千円	1箇所 92(45)千円

(注)( )書きは森林環境税額。

(2) ナラ枯れ対策事業(森林環境税を活用)

全国的に猛威をふるっているカシノナガキクイムシの早期発見・早期防除を行う。

区分 市町名	伐倒事業
伊予市	12m <sup>3</sup> 314(314)千円

(注)( )書きは森林環境税額。

#### 3 平成27年度実績額

(1) 実績額 1,296千円(全体事業費32,202千円)

(2) 実施状況

森をつくる活動

松林保全活動



(今治市 志島ヶ原)  
今治市桜井 (植栽状況)

4 事業期間 平成27年度～平成31年度

5 全体計画

事業内容		H27	H28	H29	H30	H31	計
計画	伐倒駆除量 (m3)	399.9	505	505	505	505	2419.9
	樹幹注入量 (m3)	47.92	755	755	755	755	3067.92
	松林保全活動箇所数	1	1	1	1	1	5
	ナラ枯れ対策事業(樹幹注入)(本)	50					
	(伐倒) (m3)	21					
	事業費 (千円)	16,483	46,617	46,617	46,617	46,617	202,951
うち森林環境税 (千円)	1,296	10,488	10,488	10,488	10,488	43,248	
実績	伐倒駆除量 (m3)	243					
	樹幹注入量 (m3)	262					
	松林保全活動箇所数	1					
	ナラ枯れ対策事業(伐倒) (m3)	12					
	事業費 (千円)	32,202					
	うち森林環境税 (千円)	1,296					
実施場所	伐倒駆除(今治市、伊予市、東温市)樹幹注入(今治市、伊予市、久万高原町)、松林保全活動(今治市)、抵抗性マツの供給、ナラ枯れ対策事業(伊予市)						

④ フォレスト・マイスター養成支援事業（一部森林環境税事業）

公益的機能を持つ森林を面的・効率的に整備する林業技術者（フォレストワーカー）と作業管理者（フォレスト・マイスター）を養成するとともに、異業種から参入する事業者及び従事者に林業技術者を養成する研修を実施します。

1 ポイント

森林の持つ公益的機能を発揮するためには、適切な森林整備とそれに伴う木材生産の実施、搬出される木材の多面的利用を推進する必要がある。しかし、森林整備を行う林業の担い手は、減少・高齢化が進行しており、時代の要請に即した林業担い手の確保が急務となっている。

このため、県では就業初心者現場作業に必要な基本的知識・技術・資格を取得する研修を実施し、現場作業を行う林業技術者（フォレストワーカー）を養成するとともに、現場リーダー及び現場作業の管理者（フォレスト・マイスター）を養成し、林業担い手の確保育成を図る。

さらに、異業種から林業界へ新規に参入する事業者に対し、林業の基礎知識等に関する研修会や従業員を林業技術者に養成する研修を実施し、幅広く林業の担い手を確保することとしている。

2 事業内容

<p>(1) フォレストワーカー養成コース 対象人数 年間7名 【実績 9名】 研修期間 20日間</p>	<p>森林整備に必要な基本的知識・技術・資格等の習得研修 (緑の雇用担い手確保育成対策事業と共催で実施) ○講習・実習内容 林業の基礎知識、造林技術、育林技術、伐採技術、機械の構造と仕組み ○取得資格 玉掛技能講習、小型車両系建設機械（整地等）運転業務特別教育、伐木等の業務に係る特別教育、刈払機取扱作業安全衛生教育</p>
<p>(2) 林業架線作業技術コース 対象人数 年間14名 【実績 12名】 研修期間 30日間</p>	<p>現場リーダーに必要な基本的知識・技術・資格等の習得研修 ○講習・実習内容 架線知識、架線法令、架線力学、架線設計、架線の架設・撤去、集材機操作、クレーン架設・撤去、シングルヤード架設・撤去、ワイヤロープ実習、架線現場視察 ○取得資格 林業架線作業主任者免許、小型移動式クレーン運転技能講習、簡易架線集材装置等の運転業務特別教育、機械集材装置の運転の業務特別教育、荷役運搬機械等によるはい作業従事者安全教育</p>
<p>(3) 高性能林業機械作業技術コース 対象人数 年間12名 【実績 11名】 研修期間 42日間</p>	<p>高性能林業機械活用およびコスト管理に必要な知識・技術・資格等の研修 ○講習・実習内容 高性能林業機械の基本操作、高性能林業機械の構造と仕組み、シングルヤード架設・撤収、システム運用実習、間伐作業の技術・経営・コスト管理 ○取得資格 大型自動車運転免許、車両系建設機械（整地等・解体）運転技能講習、不整地運搬車運転技能講習、フォークリフト運転技能講習、はい作業主任者技能講習、走行集材機運転特別教育、伐木等機械運転特別教育、簡易架線集材装置等の運転特別教育</p>
<p>(4) 森林施業プランナー養成 ステップアップ研修 対象人数 年間8名 【実績 8名】 研修期間 4日間</p>	<p>森林施業プランナーとしての更なるスキルアップを図り、提案型集約化施業の実践に欠かせない経営管理をトータル的に指導できる者の育成強化 ○講習・実習内容 森林組合経営の意味・現状と課題、目標林型と育林技術、団地設計の考え方、作業道設計の考え方、経営ビジョン・経営計画の考え方、作業システムと路網、作業システムと林業機械等</p>
<p>(5) 異業種等新規参入促進支援事業 対象人数 年間30名 【実績 10名】 研修期間 1日</p>	<p>異業種等から新規参入する事業者を対象に、林業の基礎知識等の研修会及び林業従事者を養成する研修を実施するとともに、先進林業事業者の受入れ研修に参加させる。</p>

# 森をつくる活動

## 3 平成 27 年度実績

### (1) 実績額 (見込み)

14,471千円 (全体事業費14,845千円)

### (2) 実施状況



フォレストワーカー養成コース



林業架線作業技術コース



高性能林業機械作業技術コース



森林施業プランナー養成ステップアップ研修

## 4 事業期間

平成 27 年度 ~ 平成 31 年度

## 5 全体計画

事業内容		H27	H28	H29	H30	H31	計
計 画	森林整備面積	40ha	40ha	40ha	40ha	40ha	205ha
	研修受講者数	73人	93人	93人	93人	93人	445人
	事業費	14,845千円	16,701千円	16,701千円	16,701千円	16,701千円	81,649千円
	うち森林環境税	12,904千円	14,760千円	14,760千円	14,760千円	14,760千円	71,944千円
実 績	森林整備面積	37ha	ha	ha	ha	ha	37ha
	研修受講者数	71人	人	人	人	人	71人
	事業費	14,471千円	千円	千円	千円	千円	14,471千円
	うち森林環境税	12,693千円	千円	千円	千円	千円	12,693千円
実施箇所		県内一円	県内一円	県内一円	県内一円	県内一円	

## ⑤里山放置竹林対策モデル事業費

里山の放置竹林の水土保持機能等の回復を図るため、モデル的に全伐、広葉樹へ樹種転換を図るとともに、竹資源の地域利用促進に向けた検証・斡旋を行います。

### 1 ポイント

近年、安価なタケノコや竹製品の輸入等により放置された竹林は、近接する森林等へ侵入拡大し、里山の景観を損ね有害鳥獣の被害拡大や、水資源かん養機能等の公益的機能の低下が懸念されています。

このため、里山地域の放置竹林について、水土保持機能等の回復を目的とし、県が事業主体となり対象竹林の必要な調査を行った上で、モデル的に全伐し広葉樹へ樹種転換を図るとともに、竹資源の地域利用をモデル的に検証・斡旋していくものです。

### 2 事業内容

里山地域の放置竹林で、整備が必要と見込まれる放置竹林がまとまって多く存在する地区を重点地区と位置づけ、竹林所有者との施業協定締結が行われた箇所について、モデル的に全伐し広葉樹へ樹種転換を図るとともに、竹資源の地域利用について検証・斡旋を行います。

- (1) 事業対象放置竹林の実態調査（1～5年目：平成27～31年度）
  - ・対象竹林の土地境界調査
  - ・対象竹林の所有者との施業協定書の作成
- (2) モデル竹林の整備（1～5年目：平成27～31年度）
  - ・放置竹林の全伐と広葉樹の植栽
  - ・竹利用の搬出、獣害対策
  - ・作業道の開設（幅員2.5m以下）
  - ・下刈り（植栽後、次年度以降に実施）
- (3) 地域利用の検証・斡旋
  - ・竹資源の地域利用を進めるための検証（粉碎・運搬等）と斡旋

### 3 平成27年度実績 9,664,860円（全体事業費 15,330,000円）

#### (1) 事業対象放置竹林の実態調査

##### ① 今治市玉川町中村地区

委託内容：境界確認面積2.5ha、施業協定数15人

委託先：越智今治森林組合、委託金額195,000円、委託期間27.8.11～27.9.10

##### ② 東温市則之内地区

委託内容：境界確認面積1.61ha、施業協定数3人

委託先：松山流域森林組合、委託金額91,000円、委託期間27.8.8～27.9.10

##### ③ 大洲市新谷地区

委託内容：境界確認面積0.5ha、施業協定数1人

委託先：大洲市森林組合、委託金額31,000円、委託期間27.8.11～27.9.10

##### ④ 内子町重松地区

委託内容：境界確認面積1.0ha、施業協定数1人

委託先：内子町森林組合、委託金額54,000円、委託期間27.8.8～27.9.10

#### (2) モデル竹林の整備

##### ① 今治市玉川町中村地区

委託内容：伐採面積1.74ha、作業道の開設253m、竹利用搬出150m<sup>3</sup>

委託先：越智今治森林組合、委託金額：5,227千円、委託期間：27.10.20～28.3.23

##### ② 東温市則之内地区

委託内容：全伐面積1.61ha、作業道の開設188m、竹利用搬出34.1m<sup>3</sup>

委託先：松山流域森林組合、委託金額：4,078千円、委託期間：27.10.20～28.3.18

## 森をつくる活動

### ③ 大洲市新谷地区

委託内容：全伐面積 0.50ha、作業道の開設 221m、竹利用搬出 20m<sup>3</sup>

委託先：大洲市森林組合、委託金額：1,350 千円、委託期間：27.10.20～28.3.18

### ④ 内子町重松地区

委託内容：全伐面積 0.99ha、作業道の開設 391m、竹利用搬出 50m<sup>3</sup>

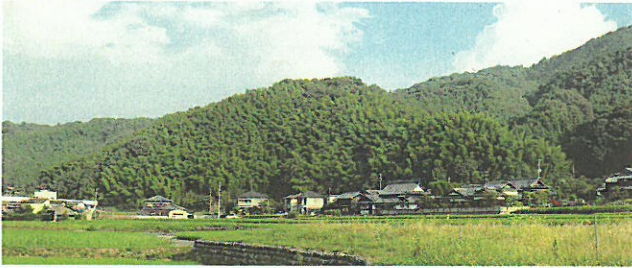
委託先：内子町森林組合、委託金額：2,571 千円、委託期間：27.10.20～28.3.18

### (3) 地域利用の検証・斡旋

委託内容：竹粉碎 24m<sup>3</sup>、竹搬出 254.1m<sup>3</sup>

委託先：愛媛県森林組合連合会、委託金額：1,733 千円、委託期間：27.7.30～28.3.18

施行前(全景)



施工前



施工後

## 4 事業期間

平成27年度 ～ 平成31年度

## 5 全体計画

事業内容		H27	H28	H29	H30	H31	計
計画	実態調査	3地区	3地区	3地区	3地区	3地区	15地区
	竹林整備 (ha)	6	9	9	9	9	42
	検証・斡旋	1	1	1	1	1	5
	事業費	15,330 千円	28,968 千円	34,564 千円	40,180 千円	45,796 千円	164,838 千円
	うち森林環境税	9,665 千円	15,127 千円	19,343 千円	23,759 千円	27,814 千円	95,708 千円
実績	実態調査	4地区					
	竹林整備 (ha)	4.81					
	検証・斡旋	1					
	事業費	15,330 千円					
	うち森林環境税	9,665 千円					
実施地区	今治市中村 東温市則之内 大洲市新谷 内子町重松 (4地区)						

⑥ 有害鳥獣総合捕獲事業

(ニホンジカ緊急捕獲事業、ニホンジカ狩猟捕獲森林保全対策事業)

ニホンジカによる農林水産業等に係る被害を軽減し、森林等の公益的機能の保全や農林業従事者の生産意欲の減退を防ぐため、市町が行うニホンジカ捕獲事業を支援します。

1 ポイント

近年、ニホンジカによる森林被害や農作物被害が深刻化しているため、市町が行うニホンジカ捕獲事業を支援し、ニホンジカの捕獲を強化します。

2 事業内容

(1) ニホンジカ緊急捕獲事業

①補助対象

市町が、ニホンジカの捕獲を強化するため、狩猟期間を除く期間に、銃器又はわなにより、平成21年度の当該市町における有害鳥獣捕獲数を超える数のニホンジカを捕獲した者に対し、奨励金の交付等を行うのに要する経費に対して補助

②補助率 1/2以内

③基準経費 10,000円/頭

(2) ニホンジカ狩猟捕獲森林保全対策事業

①補助対象

市町が、森林等の保全のため、狩猟期間中に、銃器又はわなによりニホンジカを捕獲した者に対し、奨励金の交付等を行うのに要する経費に対して補助

②補助率 1/2以内

③基準経費 10,000円/頭

3 平成27年度実績 15,855千円 (全体事業費 37,621千円)

4 事業期間 平成27年度～平成28年度  
(平成29年度以降は、現在の第2次愛媛県ニホンジカ適正管理計画の改定に伴い、見直しを行う予定)

5 全体計画

事業内容		H27	H28	H29	H30	H31	計
計画	捕獲計画数(全体)	4,579頭	4,579頭				9,158頭
	捕獲計画数(森林環境税分)	3,171頭	3,171頭				6,342頭
	事業費	31,710千円	31,710千円				63,420千円
	うち森林環境税	15,855千円	15,855千円				31,710千円
実績	捕獲実績数(全体)	4,878頭					4,878頭
	捕獲実績数(森林環境税分)	3,520頭					3,520頭
	事業費	37,621千円					37,621千円
	うち森林環境税	15,855千円					15,855千円
実施市町	15市町 松山市、今治市、宇和島市、新居浜市、西条市、大洲市、伊予市、四国中央市、西予市、東温市、久万高原町、内子町、松野町、鬼北町、愛南町	ニホンジカにより森林被害及び農作物被害を受けている市町					





森をつくる活動

3 平成 27 年度実績見込み額

897千円 (全体事業費 9,152千円)



4 事業期間

平成 27 年度 ~ 平成 31 年度

5 全体計画

事業内容		H27	H28	H29	H30	H31	計
計 画	調査地点数 (生息密度)	8	39	39	39	39	164
	調査地点数 (植物被害)	17	40				57
	捕獲従事者数 (延べ)	—	—	—	—	—	—
	事業費	9,152 千円	17,876 千円				27,028 千円
	うち森林環境税	897 千円	8,349 千円				9,246 千円
実 績	調査地点数 (生息密度)	40					40
	調査地点数 (植物被害)	80					80
	捕獲従事者数 (延べ)	—					—
	事業費	9,152 千円					9,152 千円
	うち森林環境税	897 千円					897 千円
実施箇所	[生息密度調査] 県内40地点 [植生衰退度調査] 県内80地点						

## ⑧優良種苗確保事業（一部森林環境税事業）

林木の品種改良、種子採種源の整備などを行い、優良な種苗の供給を確保するとともに、林業躍進プロジェクトの推進に向けて、低コスト再生林の実現が課題となっていることから、通年植栽が可能なコンテナ苗木や成長等が優れた第2世代精英樹（エリートツリー）などの活用、国が推進している花粉症対策品種苗木の利用拡大の促進を積極的に行います。

### 1 ポイント

私たちの生活を守る森林は、植え付けた苗木が立派に成長し成林するまでに、数十年を要します。この間、保育作業をはじめ多くの人手と経費が投入され、厳しい自然環境のもとで森林は、病害虫や気象害の危険にさらされることとなります。植え替えなどのやり直しができないことから、植え付けられる苗木の優劣は健全な森林を造成する上で大きな要因となってきます。

このため、県では優良な種穂を確保するため、スギ、ヒノキ等の優良母樹の整備に努めるとともに、成長の優れた第2世代精英樹（エリートツリー）、花粉を出さない無花粉スギ、松くい虫に抵抗できるマツなど、県民のニーズに対応した品種の開発や、低コスト造林として注目されているコンテナ苗の利用促進など、新たな品種・技術等を普及し活力のある林業を目指します。

### 2 事業内容

事業名	事業内容
育種母樹林整備事業	県採種園（新居浜市・内子町）内の採種用母樹の育成及び着花結実を促進するためのジベレリン処理等を実施。
花粉症対策品種等育成推進事業	愛媛県の気候に対応した花粉症対策品種の開発等を実施。
苗木供給体制整備事業 （※森林環境税事業）	第2世代精英樹からなるミニチュア採種園の整備や、コンテナ苗木の生産拡大等の支援を実施。
種子採取事業 （※森林環境税事業）	林業躍進プロジェクト等に基づき増産する優良種苗確保に必要な種子を、県採種園において採取し貯蔵。



森をつくる活動

3 平成27年度実績

実績額 15,374千円 (全体事業費 28,475千円)

4 全体計画

事業内容		H 27	H 28	H 29	H 30	H 31	計
計 画	育種母樹林整備事業	シベリソ処理 300 本	300 本	300 本	300 本	300 本	1,500 本
	花粉症対策品種等育成 推進事業	1 式	1 式	1 式	1 式	1 式	1 式
	苗木供給体制整備事業	第二世代精英樹 スキ 200 本 ヒノキ 200 本	スキ 200 本 ヒノキ 200 本	スキ 200 本 ヒノキ 200 本	スキ 200 本 ヒノキ 200 本	スキ 200 本 ヒノキ 200 本	スキ 1,000 本 ヒノキ 1,000 本
	種子採取事業	1 式	1 式	1 式	1 式	1 式	1 式
	金額 (千円)	37,149	87,413	37,149	37,149	37,149	236,009
	うち森林環境税(千円)	15,374	27,455	15,374	15,374	15,374	88,951
実 績	育種母樹林整備事業	シベリソ処理 300 本					
	花粉症対策品種等育成 推進事業	1 式					
	苗木供給体制整備事業	第二世代精英樹 スキ 200 本 ヒノキ 200 本					
	種子採取事業	1 式					
	金額 (千円)	28,475					28,475
	うち森林環境税(千円)	15,374					15,374

⑨ 林業躍進プロジェクト推進事業（一部森林環境税事業）

第4次愛媛県総合林政計画「えひめ森林・林業振興プラン」の推進を図るとともに、プランの目標達成に向けた「林業躍進プロジェクト」に取り組みます。

1 ポイント

主伐を計画的・段階的に導入して県産材の増産を図り、県内の製材・加工業等へ安定供給することで、林業を地域の成長産業として育成する「林業躍進プロジェクト」の進行管理等を行うため、関係市町及び森林林業関係者を参集して推進会議を行います。

また、平成23年3月に策定した、第4次愛媛県総合林政計画「えひめ森林・林業振興プラン」を推進するため、プランの目標や今までの取組みの検証、さらには次期プランの骨子や基本方針等の周知徹底を図るためのプロジェクトチーム検討会の開催や、森林・林業・木材産業の現状を把握するための調査を行います。

2 事業内容

事業名	事業内容
(1) 林業躍進プロジェクト推進会議の開催	各地域における推進会議の開催 (参集者：市町長、林業関係団体、森林所有者、製材・加工・流通業者等)
(2) えひめ森林・林業振興プラン実行管理事業	えひめ森林・林業振興プランプロジェクトチーム検討会の開催
(3) 森林・林業・木材産業現状調査事業	森林・林業・木材産業の現状把握調査

3 平成27年度実績

(1) 実績額 22千円（全体事業費 191千円） ※見込み

(2) 実施状況



林業躍進プロジェクト推進会議

4 事業期間 平成27年度 ～ 平成31年度

5 全体計画

事業内容		H27	H28	H29	H30	H31	計	
計画	林業躍進プロジェクト推進会議の開催	4回	4回	4回	4回	—	16回	
	プロジェクトチーム検討会の開催	2回	2回	2回	2回	2回	10回	
	事業費	303千円	303千円	303千円	303千円	303千円	1,515千円	
	うち森林環境税	111千円	111千円	111千円	111千円	111千円	555千円	
実績	林業躍進プロジェクト推進会議の開催	4回					4回	
	プロジェクトチーム検討会の開催	2回					2回	
	事業費	191千円	千円	千円	千円	千円	191千円	
	うち森林環境税	22千円	千円	千円	千円	千円	22千円	
実施箇所		東予地方局、中予地方局、南予地方局（本局・八幡浜支局）、県庁					県庁	